

CV22 オスプレイの横田基地配備に断固抗議し、撤回を求めます（談話）

2018年10月2日
安保破棄中央実行委員会
事務局長 東森英男

10月1日、東京の横田基地に米空軍の特殊作戦機であるCV22 オスプレイ 5機が正式配備されました。これに伴い約450人の特殊作戦部隊も配備されます。

CV22 オスプレイは、世界に知られた欠陥機オスプレイの中でも、海兵隊用のMV22 オスプレイよりも事故率が高く、特殊作戦を担うため、夜間・低空などの危険な訓練を基地の外でもおこなっています。

私たちは、このようなCV22 オスプレイの配備に断固抗議し、配備の撤回を求めます。

このCV22 オスプレイは、ことし4月に横浜のノースドックにアメリカから秘密裏に搬入され、日本政府がそのことを発表した2日後には横田基地に飛来しました。しかし、日本政府は、米軍からオスプレイの行動予定の秘匿を要請されたとして、周辺自治体にも一切の事前通告をおこないませんでした。今後の関東一円などでの訓練についても事前通告なくおこなう可能性が強く、訓練地周辺の住民への脅威ははかりしれません。

また今回の配備は、韓国と北朝鮮の会談、米朝首脳会談などで切り開かれた北朝鮮の核・ミサイル問題の平和解決と北東アジアの平和構築に逆行するものであり、この点からも断じて認められません。

私たちは、東京の住宅密集地の中にある基地を、暗殺や拉致などの特殊作戦を担う航空部隊の出撃拠点とする今回の配備を許さず、その撤回のために、地域住民や諸団体と手をたずさえてたたかうことを表明します。

以上